



社協通信

みなさん
元気で

[編集と発行] 高松市東植田町1825-1 TEL.087-849-0104 (東植田地区社会福祉協議会)

てきよしむ

2022年度



子どもたちにコミセンの壁に絵を描いてもらおうか?』
そんなことを考えた
あの日から18年が過ぎました
コミセンの建物が新しくなり
イルミネーションは年々グレードアップ
いまは壁面だけではなく
北側にツリーが3本
南側には光のトンネル
そして空中には3本のイルミの光が
多くのみなさんにお手伝いをいただき
子どもたちの元気なこえを聞き
小さなまちの小さなイルミ
あと2年で20年がきます
今度はなにを増やそうか?
そう考るだけで私はしあわせです

東植田地区 社会福祉協議会 年間活動計画

- 敬老会事業
- 地域福祉活動促進事業
- 広報誌発行
- 高齢者と地域の交流事業
老人給食／年8回実施
- 青少年健全育成連絡協議会との
交流事業／子ども農園の開設
- 友愛訪問事業
ひとり暮らし高齢者、75歳以上の
高齢者世帯、寝たきり高齢者を訪問



コミュニティバスをご利用ください♪

バスの時刻、運行などの不明な方は、コミュニティセンターまで
気軽に問い合わせください。 087-849-0104

民生委員児童委員

氏名	住所・電話	担当地区
細川 清和	東植田町751-2 848-1593	宝地・岩破
飯間 和則	東植田町172 849-0926	杣尾
川西 敬子	東植田町1945-4 849-0685	下司・竹元・岡
高瀬みちよ	東植田町3417 849-0570	久保田・高柿・城・高尾大畑
美濃美智代	東植田町2629-1 849-1024	高様・棚田
十河 久美	菅沢町833 893-0566	菅沢
久保 善孝	東植田町1723 849-0811	主任児童委員
飯間 典子	東植田町18 849-0834	主任児童委員

福祉部会名簿

自治会名	氏名
上岩破	谷川 光枝
下岩破	溝潤美恵子
宝地	細川ひろみ
杣尾東	上原 市子
杣尾中	坂本智代美
杣尾西	飯間 典子
杣尾北	筒井 育代
久保田	多田 有美
高柿	久保 知子
下司	久保 素子
竹元	久保 郁子
岡	久保 勝子
高様西	安藤トミ子
高様東	三好 美樹
棚田	多田 正晃
城	須和 洋子
高尾	竹山斐珊美
菅沢	小池加代子

いくせい通信

東植田っ子
元気で

でっきょるぐ

2022年度

[編集と発行]
高松市東植田町1825-1 TEL.087-849-0104
(東植田校区青少年健全育成連絡協議会)



子どもたちの笑顔あふれるまちづくり

「安心して暮らせるまち・東植田」

高松市社会福祉協議会地域共生社会推進室

生活支援二千元、老人公寓一室の賃料と福祉相談員

卷之三

「住み慣れた東植田校区で安心して暮らせるまち」を目指して、平成29年2月から東植田校区地域福祉ネットワーク会議を毎月開催し、「あにさんねえさん・

ことについて話し合っています。「たのめんかいの～東植田」は、買い物やゴミ出しなどに困っている高齢者の方に対して、地域の住民さんが買い物代行等を行う支援を行い活動です。地域福祉ネットワーク会議には、私たち生活支援コーディネーターも出席させていただいており、このような活動が未来に続くよう、さらに、地域のお役に立てるよう頑張りたいと思つております。

が生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことができる「地域共生社会」の実現を目指しています。このような中、高松市社会福祉協議会では、高松市から委託を受けて「まるごと福祉相談員」を高松市全域に配置しております。まるごと福祉相談員は、困りごとを抱える方のご自宅への訪問などを通して、本人との信頼関係を構築し、適切な支援機関につなぐ役割を担っています。私たちが、まるごと福祉相談員として東植田校区を担当しているので、福祉のお困りごとがあれば、お気軽に相談いただければと思います。

The image consists of two hexagonal photographs. The top photograph shows three children in a garden. One child in the center wears a pink shirt, blue jeans, and a pink hat, holding a small plant. To their left, another child in a light pink jacket and red boots holds a similar plant. To their right, a child in a grey sweatshirt and checkered pants also holds a plant. All three children are wearing hats. The bottom photograph shows a child in a white shirt, blue pants, and a red cap, holding a large bunch of green leaves. They are wearing yellow boots. In the background of both photos, there are other children and some plants.

よさあふれるカラフルな学校を目指して
高松市立東植田小学校 校長 高橋 弘恵

「人づくり」これは、令和3年10月に策定された香川県教育基本計画の理念です。少子・高齢化が進む本校区においても、地域の価値や魅力を感じつつ身近で活躍する人に学び、人とつながり地域に働きかける人をつくることが大切であると考えます。小学校におきましては「シビックプライド」を目指し、地域の活性化に貢献できる人づくりを目指したいと思います。

子どもたちは五感を通して東植田の「人・もの・こと」に触れ、地域の営みが、周囲への思いやりや優しさにつながっていることを実感しました。その学びや思いを図工や生活科などの活動を通して制作物に表したり、ダンスや歌でのびのびと表現したりしています。子どもらしく輝き、発信の喜びを感じています。

3・4年生は、「東つ子学習」(総合的な時間の学習)で、「誰一人取り残さない」SDGsの理念を学び、自分たちができるSDGsを考え取り組んでいます。今年度は、育てた菊の販売収益に加え、保護者や地域の方からの募金という心強い協力も得られ、県ユニセフ協会に寄付することによって地域貢献の喜びを感じています。

5・6年生は、「ごみのポイ捨て」「動物愛護」「水のムダ使い」という身近な課題を廣告会社の献身的な働き掛けを基に「公共CM」に表現して発信しました。活動の様子は、テレビ番組に取り上げられました。さらに県庁やしつぽの森などの公共施設でも放映され、活躍の場は学校から地域、県下へと広がりました。

子どもたちは、自らの成長や変化を感じ、自信を深めています。「シビックプライド」、子どもたちはカラフルな取り組みを通して地域の中で輝ける一人になっています。

振り返つて思うこと

久保
久子

私は長い間ＪＡでお世話になり、少しは地域の方々に恩返ししたいなと思い、民生委員・児童委員の大役を微力ながら引受け、早いもので9年が過ぎました。私も後期高齢となり、この節目を機に退任致しました。地域の方々、民生委員のご指導、家族の理解と協力を頂いてお陰で大過なく責務を果すことが出来ましたことを、心より厚く有難く感謝しております。

振り返って見ますと私が時々訪問する際、一番気を付けていたことは、相手の立場に立ち、よき相談相手になり親身に対応

「くれるけん助かるわ」と言って毎回にこやかに接してくれることに生きがいを感じ、民生委員をしていて有難く嬉しく思つておりました。これから少子高齢化が進み、認知症高齢者の増加、虐待問題、ひきこもり等課題が山積みしている中で、ひとり暮らしの高齢者が年々増加し、民生委員、地域の支えが益々必要になつておきます。高齢者の方も近くのサロン等交流の場所に積極的に参加して、生きがいを見つけて楽しく過してほしいものです。これからは福祉事業の大切さ、知識を習得し何か困った時は民生委員、社協の方々に相談して頂きたいと思つています。

これから私は第3の人生、孫の成長を見ながら一日一日を大切に過したいと思います。最後になりましたが在任中は地域の方々、民生委員の方には大変お世話になり感謝しております。今後ともよろしくお願ひします。ありがとうございました。

A group of students wearing blue hats are working in a garden. One student in a white shirt and blue pants is bending over, while others are standing around. The garden bed is filled with green plants.

高松市立東植田保育所 所長 白戸 由紀

見守つていただいている地域のみなさま。本当にありがとうございます。今年度も子ども達は、地域のみなさんと一緒にたくさん『体験』をすることができました。

また、広い農園で、暑い時期の水やりを子ども達と体験し、とても大変な作業であることも実感しました。そして、待ちに待った収穫の時は、子ども達の「おおきいね～」「おもたい～！」の嬉しそうな表情を見ることができ、クッキングや焼き芋パーティーなどで美味しさを味わいました。小学生や地域の方々と一緒に参加することで、子ども達も職員も楽しさを共有し、親しみも深まっていると感じます。

私は、地域のみなさまとの会話や活動の中で、「子どもたちのために…」というあたたかい想いをいつも感じます。その想いは子ども達にも伝わり、安心できる見守りの中で『やつてみたいい!』という意欲につながっていると思います。また、保護者も子ども達の生き生きとした表情を見て、「こんな経験できないですよね。ありがとうございます。」と感謝しています。こんなにもあたたかい地域交流を体験できるのは、東植田だからこそだと思います。私自身も東植田のことをもっと知つて、子ども達や保護者に東植田のあたたかさをたくさん伝えたいです。